

・ビジターセンターのお知らせ・

首都大学東京公開講座【自然と社会と文化】

■8/16(火) 19:30~21:00「世界自然遺産小笠原の過去・現在・未来」



世界自然登録までのみちのりと、首都大学が行ってきたこれまでの研究成果の一部をスライドで紹介します。

講師：可知直毅
(首都大学東京小笠原研究委員長)

■8/17(水) 19:30~21:00「小笠原ことばはなぜ重要か？」

小笠原には「ことば」にも「固有種」がたくさんあります。島民にとって、また研究者にとってなぜそれが貴重なのかをお話します。 講師：ダニエル・ロング(首都大学東京教授)



■8/18(木) 9:00~12:00

9:00 「戦前～ネイビー時代の小笠原」

～写真を見ながら当時の生活や思い出を聞こう！

お話：大平京子

コーディネーター：ダニエル・ロング

10:35 「小笠原に来た芸術家と作家たち」

～大正や昭和(戦前)に小笠原を訪れた詩人や作家(北原白秋、中島敦など)、芸術家(倉田白羊、ダビッド・ブルリュークなど)の作品をとり上げ、当時の「南洋の楽園」に対する憧れについて考えます。

講師：チャールズ・フォックス(立命館大学教授)



主催：首都大学東京 共催：公益財団法人東京都公園協会/BIO(ボニン インタープリター協会)

問い合わせ 小笠原ビジターセンター TEL:04998-2-3001